



# 都路

未来を創る  
人間性豊かな 都路っ子の育成

令和4年2月28日 発行責任者 校長 安瀬 一正

## 特別支援教育を学校の中心に

都路小学校の学校経営グランドデザインに「特別支援教育をベースとした教育活動」と明記し、その上に3つの目指す児童の姿が成り立つよう示しています。(下図と赤枠)

人は皆、何かしらの“発達課題”を持っています。例えば、  
「漢字を憶えるのが苦手」  
「知らない人とは、会話がうまくできない」  
「地図から方向を捉えるのが苦手」  
など、心当たりはありませんか？

この発達課題は、子どもたちの成長段階でもほとんどの子にいろいろな点で見られます。発達課題は家庭のしつけや教育でカバーできることもありますが、学習や生活でどうしても困難や不便を感じることもあります。このようなとき、ご自分のお子さんに対して「困った子だな…」と心の中で考えたことはないでしょうか。学習に困難や社会生活に不便を感じる子は「困った子…」ではなく、「今、困っている子」なのです。だから特別な支援を行う必要があるのです。そのため、子どもたちの発達を見守り、手をさしのべることのできる「家庭」や「学校」「地域」であることが何より大切です。

現在日本では、「合理的配慮」により社会や学校ではすべての人々の平等を基礎として人権及び基本的自由を保障しなくてはならないと法律が制定されました。障がいを持つ人が社会で不便無く生活できるようにするためのバリアフリーの施設、障がいに応じることのできる学習環境、個別学習などの小部屋の確保等が例示されています。

すべての子どもたちの個性・特性に応じることができるよう、この考え方を基準に学校教育を進めてきました。今後も特別な支援を必要としている児童はもとより、すべての子どもたちのよりよい成長のために、「特別支援教育をベースとした教育活動」を進めていきます。これには施設や教材の整備と同時に、各家庭、都路地区の皆様の「特別支援教育」への正しい理解が必要です。変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

すべての子どもたちの個性・特性に応じることができるよう、この考え方を基準に学校教育を進めてきました。今後も特別な支援を必要としている児童はもとより、すべての子どもたちのよりよい成長のために、「特別支援教育をベースとした教育活動」を進めていきます。これには施設や教材の整備と同時に、各家庭、都路地区の皆様の「特別支援教育」への正しい理解が必要です。変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

都路小 HP R4.2.25 現在  
訪問者 390,014人  
アドレス



※学校だよりを HP ↑ で公開中

特別支援教育をベースとした教育活動  
・どの児童も持つ発達課題の理解と支援  
・個のニーズに応じた組織的な支援体制

重点項目達成のための年間ステージ STEP 2/3

## 新型コロナウイルス感染拡大への対応について

1月に入り、コロナウィルス感染が再拡大してきました。いつ、だれが感染してもおかしくない状況となっています。学校でも感染防止対策を徹底し、子どもたちも励行しています。しかし、無症状の感染者も報告されており、ワクチン接種をしていない子どもたちが過ごす学校内での万が一の感染拡大が懸念されています。

そのため、土曜日の PTA 総会、授業参観を中止といたしました。多くの人が集まる行事等は今後も実施方法の可否を検討してまいります。また、3月の卒業式は、昨年度と同様に来賓のご招待を見合わせることにいたしました。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 伝統のよさをつなぐ

学習指導要領では、様々な教科・領域で日本の伝統文化を学習することが示されています。地域の伝統文化を学ぶために、4年生は総合的な学習のテーマの一つとしています。

先日、都路民話の会の皆様から「都路の方言歳時記」「方言カルタ」を児童の家庭に一つずついただきました。

「方言のよさを感じながら、ぜひ家庭での団らんの用具として使ってみてください。」と、代表の渡辺さんからお話をいただきました。

代表でいただいた4年生が各学級に配付し、早速活用する学年もありました。昔のよさを大切に子どもたちは、きっと未来も大切にしてくれることでしょう。民話の会の皆様ありがとうございました。



## 六年生を送る会

卒業を迎える6年生に感謝を伝えようと、5年生を中心に1月から準備を進めてきました。6年生のいないことの大変さを痛感しながら、本番の日を迎えました。1～4年生もそれぞれの役割をもって、これまでの感謝の気持ちを伝えようと練習や準備を進めてきました。

本番当日、6年生を大きな拍手で迎えます。全員参加のレクリエーション、はじめはクイズです。3つのヒントから6年生の誰なのかを当てるクイズで「〇〇さんだ。」「〇〇くんだ。」と、すぐに6年生の名前を挙げるすることができます。6年生とたくさん触れ合ってきたからこそ、都路っ子のつながりの深さを感じました。その他、ジェスチャークイズ、お絵かきリレーを全員で楽しむことができました。

最後に6年生からのサプライズです。

くす玉を割ると、子どもたちと先生方一人一人書かれた折り紙のメッセージが表れ、子どもたちも大喜びでした。

